

授業改善プラン

地域名	東葛飾教育事務所	学校名	鎌ヶ谷市立第二中学校
-----	----------	-----	------------

1. 課題（これまでの全国学力・学習状況調査結果等から）

- 令和5年度の全国学力・学習状況調査の国語の平均正答率を見ると、全体的には千葉県・全国の平均正答率と同程度である。しかし、記述式の正答率は全国平均正答率を下回っている。
- 「授業で学んだことを、ほかの学習で生かしていますか」という質問について、肯定的な回答が千葉県・全国平均を共に下回っている。このことから、教科の授業で学習したことが他の教科に活用できていない状況がある。

2. 取組のポイント（仮説、改善方法等）

- 国語の授業の中で、文章の書き方や文章を書く上での表現の工夫を指導し、自分の考えを他者を書いて伝える課題を設定することにより、目的に応じて自分の考えを書く能力が高まるだろう。

3. 具体的な実践

- 「一定量の文章を読んだり、触れたりすること」を目的とした朝読書の導入
- 記述力の向上を目的としたスモールステップ形式の朝学習の実施
- 振り返りシート（自己評価カード）の活用
- 文章構成の仕方や目的を意識した記述の指導
- 自分の考えを書いたり学習のまとめを自分の言葉で書き表したりする活動の設定

4. 成果

- 2学期末に3学年の生徒を対象に実施したアンケートにおいて、「各教科等で学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていましたか。」という質問について肯定的回答（「できている」「どちらかと言えばできている」の回答を合算したもの）が顕著に増加した。
- 学習事項の振り返りの場を継続して設定したことで、学習内容について「前時の学習内容から気付いたこと」「この時間・単元でできたこと」「次回の授業までに何をするか、次の学習に学習したことをどのように生かすか」といった振り返りを自分の言葉で具体的にまとめられる生徒が増加した。

◆担当指導主事から

- 昨年度の研究の成果と課題から、相手意識や目的意識をもたせることの重要性に着目し、国語科を中心として研究に取り組んできた。「考えや学習のまとめを自分の言葉で書き表す」活動を多く設定し、学習を振り返る活動を充実させてきたことで、「書くこと」への意識や記述力の向上につながった。また、読書の機会を大切にしてきたことで、貸出冊数が2年間で約2倍になるなど多くの成果が見られた。